

動画編集ソフト

テマカット

操作説明書

バージョン 1.0



画面はすべて実際のテマカット（無料版）です。画面に写っている人物はAIで生成した画像、字幕は合成音声を書字起こした結果です。

目次

1. はじめに	3
2. インストールと起動	4
3. 画面の見方	5
4. 最初の1本を仕上げる	6
4-1 新しいプロジェクトを作る	6
4-2 動画を読み込んで、タイムラインに置く	7
4-3 無音カット	8
4-4 自動字幕（文字起こし → テロップ）	9
4-5 字幕を直す・見た目を変える	10
4-6 保存と書き出し	11
5. 美顔補正	12
6. モザイク	14
7. 話者の聞き分け・背景の差し替え	15
8. ライセンスの登録	16
9. 困ったとき	17
10. AI から使う（Claude に頼む）	18
10-1 登録する（はじめに1回だけ）	18
10-2 頼んでみる	19
10-3 コマンドで使う	21
10-4 困ったとき（AI から使う時）	23

この説明書の読み方

画面の中の **①** **②** … の番号は、本文の手順の番号と対応しています。ボタンやメニューの名前は「」で囲んで、画面の表示のとおりに書いています。

1 はじめに

テマカットは、しゃべり動画を仕上げるのに必要なことだけに絞った、Windows 用の動画編集ソフトです。

できること

無音カット	話していない「間」を見つけて、まとめてカットします。
自動字幕	音声を文字起こしして、そのまま字幕（テロップ）にします。
美顔補正	顔を自動で見つけて、美肌の補正をかけます。小顔・あごの細さ・目の大きさ・鼻の形も調整できます。
モザイク	映り込んだ書類や顔を、ドラッグで囲んで隠します。
話者の聞き分け	声の特徴で話者を分けて、話者ごとに字幕の色を変えます。
背景の差し替え	人物を切り抜いて、背景を入れ替えます。
AI から使う	製品版は、Claude Code や Claude のデスクトップアプリに頼んで編集できます。コマンドからも使えます（10. AI から使う）。

動画はインターネットに上げず、すべてお使いの PC の中で処理します。

動作環境

OS	Windows 10 / 11（64ビット）
メモリ	8GB 以上（4K の動画は 16GB 以上を推奨）
空き容量	ソフト本体と文字起こしのデータで 3GB 程度。ほかに編集用の作業領域
インターネット	初回の文字起こしデータのダウンロード、ライセンスの認証、更新の確認のときだけ必要です

無料版と製品版の違い

使える機能は同じです。無料版で書き出した動画には透かしが入ります（真ん中でゆっくり動く大きな「テマカット」と、画面全体の薄い斜めの模様。表示の言語が英語・中国語の時は「TemaCut」）。無料版は、編集の仕上がりを確かめるためのものです。ライセンスを登録すると（8. [ライセンスの登録](#)）、透かしなしで書き出せます。

製品版は、お手元の Claude Code や Claude のデスクトップアプリから操作できます（10. AI から使う）。AI（Claude・コマンド）からの編集・書き出しは製品版の機能で、無料版では登録と接続の確認、動画の下見までです。

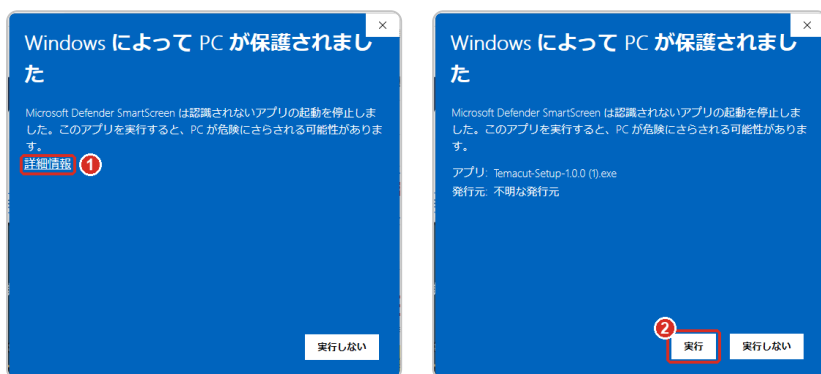
メニューの「設定」→「表示の言語」で、画面を日本語・英語・中国語に切り替えられます。

2 インストールと起動

インストール

- 1 ダウンロードしたインストーラー（`Temacut-Setup-1.0.0.exe` のような名前のファイル）をダブルクリックします。
- 2 青い画面で「Windows によって PC が保護されました」と表示された場合は、**1** 「詳細情報」を押し、表示された **2** 「実行」を押します（下の図）。

テマカットのインストーラーには、まだ発行元の電子署名（コード署名）がありません。そのため、Windows がこの確認を出すことがあります。テマラボの公式サイト（temaheru.com）から入手したファイルであることを確かめてから進めてください。



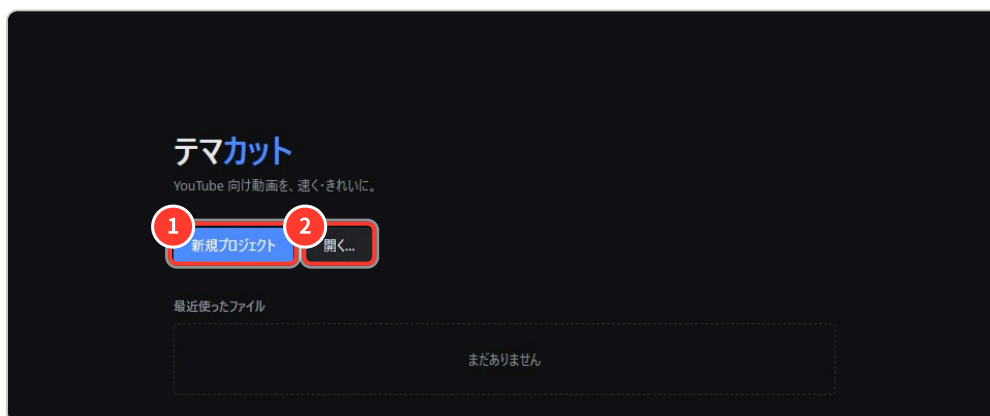
1 「詳細情報」を押す

2 「実行」を押す

- 3 インストーラーの画面の案内に従って進めます。インストール先のフォルダは変更できます。
- 4 インストールが終わると、デスクトップとスタートメニューに「テマカット」ができます。

起動

デスクトップまたはスタートメニューの「テマカット」から起動します。最初に、次のスタート画面が開きます。



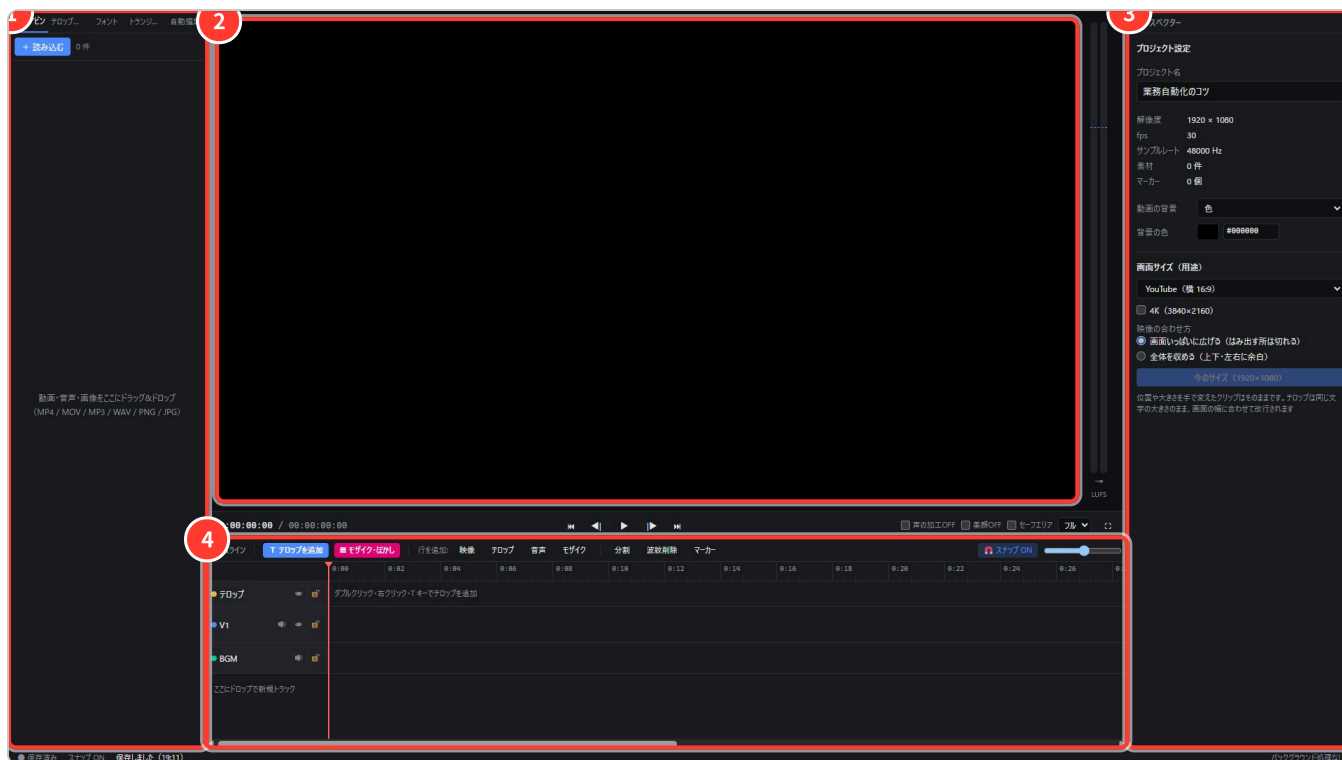
スタート画面。 **1** 「新規プロジェクト」で新しく作り、 **2** 「開く…」で保存したプロジェクトを開きます。

アンインストール

Windows の「設定」→「アプリ」から「テマカット」をアンインストールします。最近使ったファイルの一覧などの設定は PC に残ります。

3 画面の見方

プロジェクトを作ると、編集画面が開きます。画面は4つの場所に分かれています。



- 1 左のパネル** 上のタブで切り替えます。「メディアビン」（読み込んだ素材の一覧）、「テロップスタイル」、「フォント」、「トランジション」、「自動編集」（無音カット・文字起こし・字幕の一覧など）。
- 2 プレビュー** 編集中の動画が映ります。下のボタンで再生・停止します（キーボードのスペースキーでも再生・停止できます）。
- 3 インスペクター** 選んでいるもの（動画のクリップ、テロップ、モザイクなど）の設定です。何も選んでいないときは、プロジェクトの設定が出ます。
- 4 タイムライン** 動画やテロップを時間の順に並べる場所です。上の目盛りをクリックすると、その位置へ移動します（赤い線が今の位置です）。

よく使うキー

スペース	再生 / 停止	Ctrl + Z	元に戻す
Ctrl + K	再生ヘッド位置で分割	Ctrl + Shift + Z	やり直す
Shift + Delete	波紋削除（消して詰める）	Ctrl + S	保存
Ctrl + - / Ctrl + +	タイムライン縮小 / 拡大	Ctrl + E	動画を書き出し

4 最初の1本を仕上げる

録画した動画を読み込み、無音カットと自動字幕をかけて、書き出すまでの流れです。

4-1 新しいプロジェクトを作る

- 1 スタート画面の「新規プロジェクト」を押します（メニューの「ファイル」→「新規プロジェクト…」でも作れます）。
- 2 ①「プロジェクト名」に名前を入れます。
- 3 ②「画面サイズ（用途）」を選びます。YouTube の横動画なら「YouTube（横 16:9）」のままで大丈夫です。
- 4 ③「作成」を押すと、編集画面が開きます。

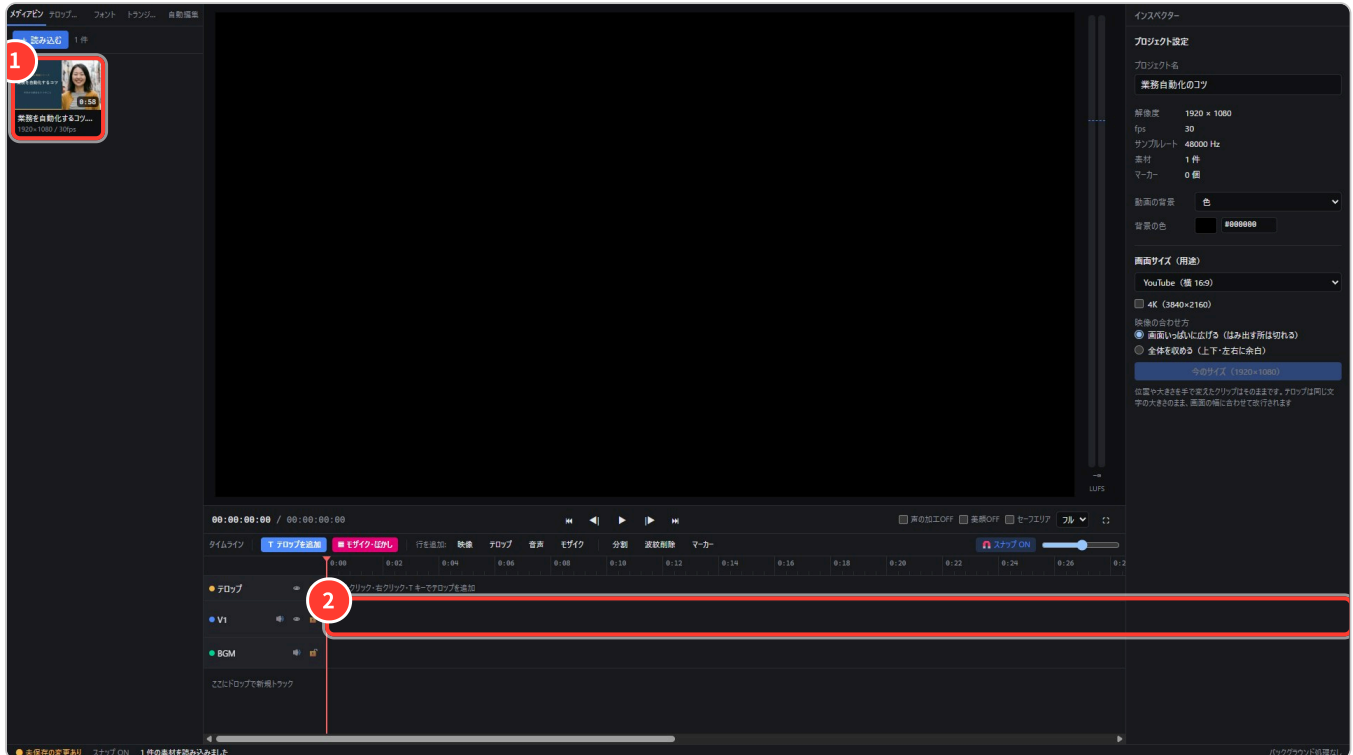


保存のしかた

最初の保存で、プロジェクトのファイル（拡張子 .temacut ）の置き場所を決めます。メニューの「ファイル」→「保存」（Ctrl + S）で保存します。素材の動画は書き換えません。

4-2 動画を読み込んで、タイムラインに置く

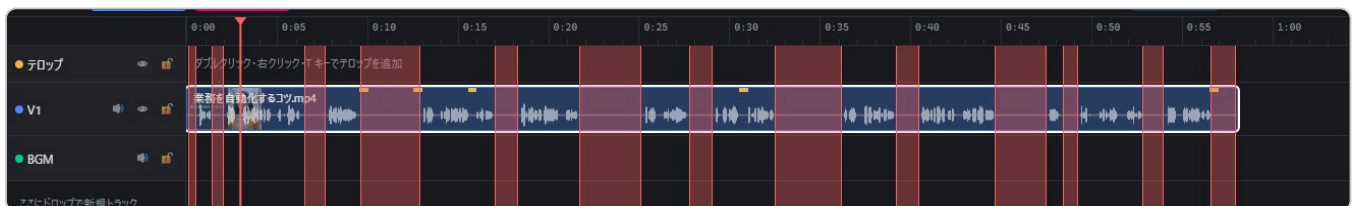
- 1 左のパネルの「メディアビン」で「+ 読み込む」を押し、録画した動画を選びます（メニューの「ファイル」→「素材を読み込む…」でも読み込めます）。
- 2 読み込んだ動画が一覧に出ます。
- 3 1の動画を、タイムラインの「V1」の行までドラッグして置きます。



タイムラインに置いたところ。1のクリップに音の波形が表示されます。

4-3 無音カット

- 1 ① 左のパネルの「自動編集」タブを開きます。
- 2 「自動カット（無音・フィラー・言い直し）」の ② 「無音を検出」を押します。見つかった無音の区間が、タイムラインに赤く表示され、一覧に並びます。
- 3 ③ 一覧のチェックを外した区間は、カットされずに残ります。
- 4 ④ 「チェックした箇所をカット」を押すと、まとめてカットされ、後ろが詰まります。



見つかった無音の区間（赤）。



カットした後。この例では、動画の長さが58秒から35秒になりました。

「無音のしきい値」（初期値 -35dB）、「最小の長さ」（0.6 秒）、「前後の余白」（0.1 秒）で、見つける無音の範囲を調整できます。カットは Ctrl + Z で元に戻せます。

4-4 自動字幕（文字起こし → テロップ）

- 1 「自動編集」タブの「文字起こし」で、**1**「モデル」を選びます。ふつうは最初選ばれている「高精度・標準（large-v3-turbo 量子化、約 570MB）」のままで大丈夫です。
- 2 **2**「文字起こしする」を押します。進み具合は画面の右下に出ます。



初めて文字起こしするとき

文字起こしのデータ（モデル）を、インターネットからダウンロードします（「高精度・標準」で約 570MB）。ボタンが「モデルをダウンロード中…」の間はそのままお待ちください。2 回目からはダウンロードしません。

- 1 文字起こしが終わったら、「自動テロップ」の **1**「文字起こしからテロップを作る」を押します。タイムラインに「自動テロップ」の行ができ、字幕が並びます。



4-5 字幕を直す・見た目を変える

文字を直す 「自動編集」タブの「テロップ一覧」を開くと、字幕が時間の順に並びます。**①** の欄で文字を直すと、**②** のプレビューと **③** のタイムラインにすぐ反映されます。



見た目を変える タイムラインの字幕 **①** を選ぶと、右のインスペクター **②** に字幕の設定が出ます。「書体」「サイズ」「文字の色」「縁取り」などを変えられます。プレビューの字幕をダブルクリックしても、文字を直接入力できます。



左のパネルの「テロップスタイル」で、よく使う見た目をスタイルとして保存できます。「フォント」タブでは、同梱の書体を試せます。

4-6 保存と書き出し

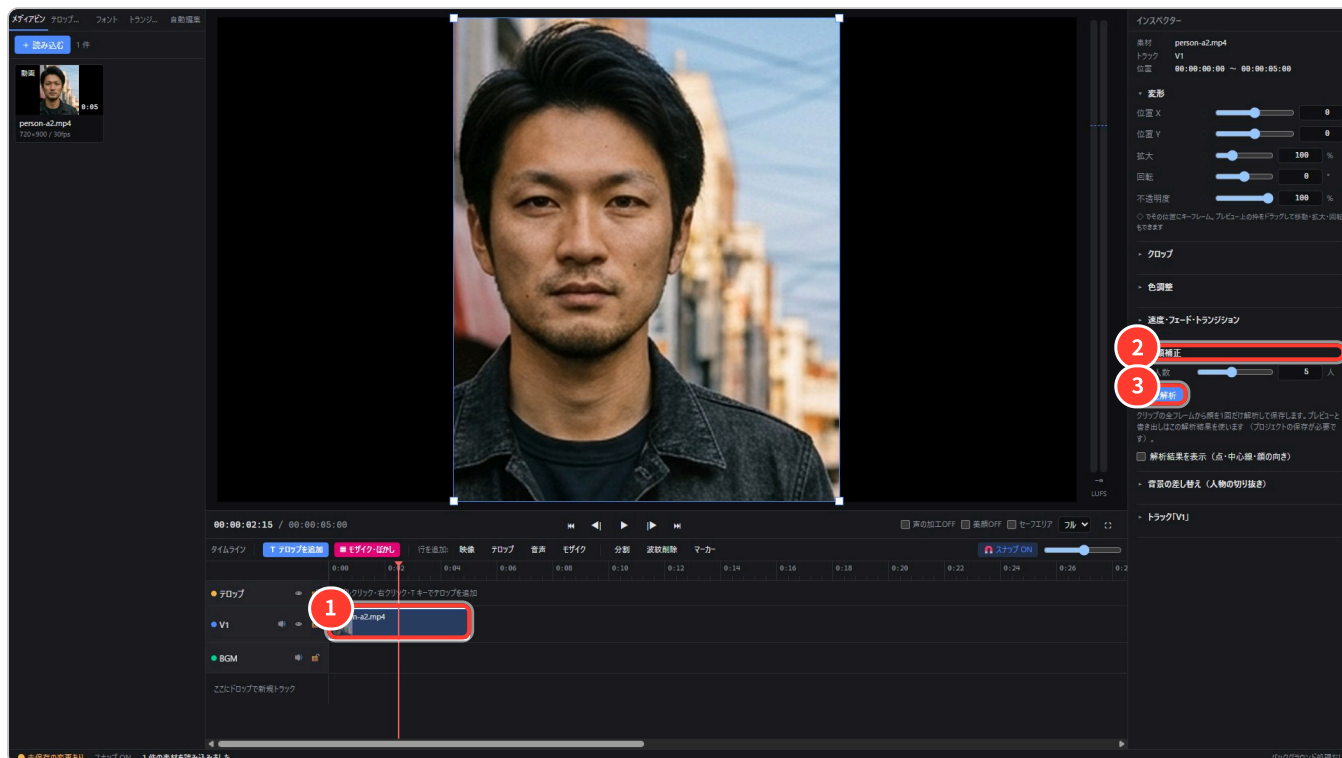
- 1 メニューの「ファイル」→「保存」(Ctrl + S) でプロジェクトを保存します。
- 2 メニューの「書き出し」→「動画を書き出し…」(Ctrl + E) を選びます。
- 3 ① 「プリセット」は、YouTube 用なら「YouTube 1080p 30fps」のままで大丈夫です。
- 4 ③ 「選択…」で、書き出すファイルの名前と置き場所を決めます。
- 5 ④ 「書き出し開始」を押します。「書き出しが完了しました」と出たら終わりです。



- 2 無料版では「無料版のため、書き出した動画には透かしが入ります (…)」と表示されます。ライセンスを登録すると、この表示は消え、透かしなしで書き出せます。

5 美顔補正

- 1 ① タイムラインで、人物が写っている動画のクリップを選びます。
- 2 右のインスペクターの ② 「美顔補正」を開き、③ 「顔を解析」を押します。クリップ全体から顔を1回だけ探して保存します（プロジェクトの保存が必要です）。
- 3 解析が終わると、美肌の補正がかかります。プレビューには解析結果（顔の輪郭や目印の点）が表示されます。



顔を解析した後のプレビュー。緑の線と点は、テマカットが見つけた顔の輪郭や目・鼻・口の位置です。表示は「解析結果を表示（点・中心線・顔の向き）」で切り替えます（書き出しには出ません）。

画面の人物はAIで生成した画像です。

強さを調整する

インスペクターのスライダーか、右の数値の欄で、0～100% の間で調整します。



- 1 美肌 「なめらかさ」「明るさ」「血色」
- 2 小顔・デカ目 「小顔の強さ」「あごの細さ」「目の大きさ」
- 3 鼻 「鼻の幅」「鼻先の大きさ」「鼻の長さ」「曲がり補正」
- 4 「補正前 / 補正後を比較」を押すと、プレビューが補正前に切り替わります。もう一度押すと補正後に戻ります。



補正前



補正後 (小顔 45%・あごの細さ 60%・目の大きさ 25%・鼻の幅 35%・鼻先 25%・鼻の長さ 20%・曲がり補正 100%、美肌 0%)

人物は AI で生成した画像です。補正はテマカットの美顔補正で行い、書き出した動画の同じ時刻のコマを並べています。強くしすぎると不自然になるので、補正前と見比べながら少しずつ上げてください。

6 モザイク

- 1 タイムラインで、隠したい物が映っている時間に移動します。
- 2 ①「罫 モザイク・ぼかし」を押します。プレビューの上に②の帯が出て、範囲を描ける状態になります（「四角」「丸」「なぞって囲む」から形を選べます。Esc でやめられます）。
- 3 プレビューの上で、隠したい所をドラッグで囲みます。



囲んだ所にモザイクがかかり、タイムラインに「モザイク」の行ができます。



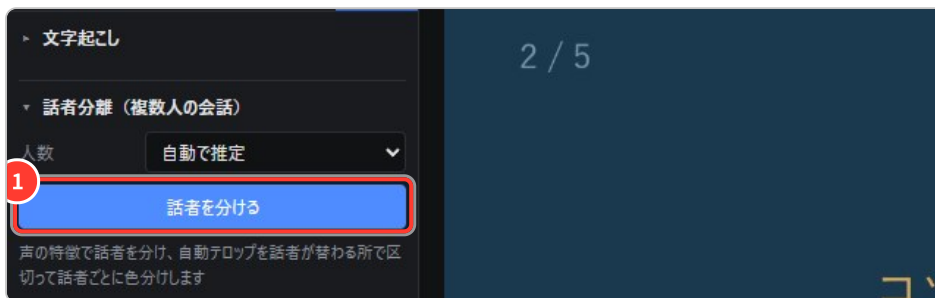
- 1 枠の上の切り替えて「モザイク」「ぼかし」「塗りつぶし」を選べます。② インспекターの「種類」でも変えられます。枠はドラッグで動かせます。隠しているのは架空の連絡先、人物はAIで生成した画像です。

7 話者の聞き分け・背景の差し替え

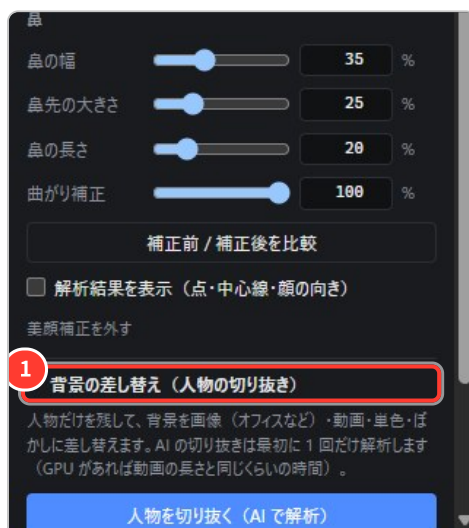
話者の聞き分け

対談やインタビューで、話者ごとに字幕の色を変えたいときに使います。先に文字起こしをしておきます。

- 1 「自動編集」タブの「話者分離（複数人の会話）」を開きます。
- 2 「人数」を選び（わからなければ「自動で推定」）、**1** 「話者を分ける」を押します。
- 3 声の特徴で話者を分け、自動テロップを話者が替わる所で区切って、話者ごとに色分けします。



背景の差し替え

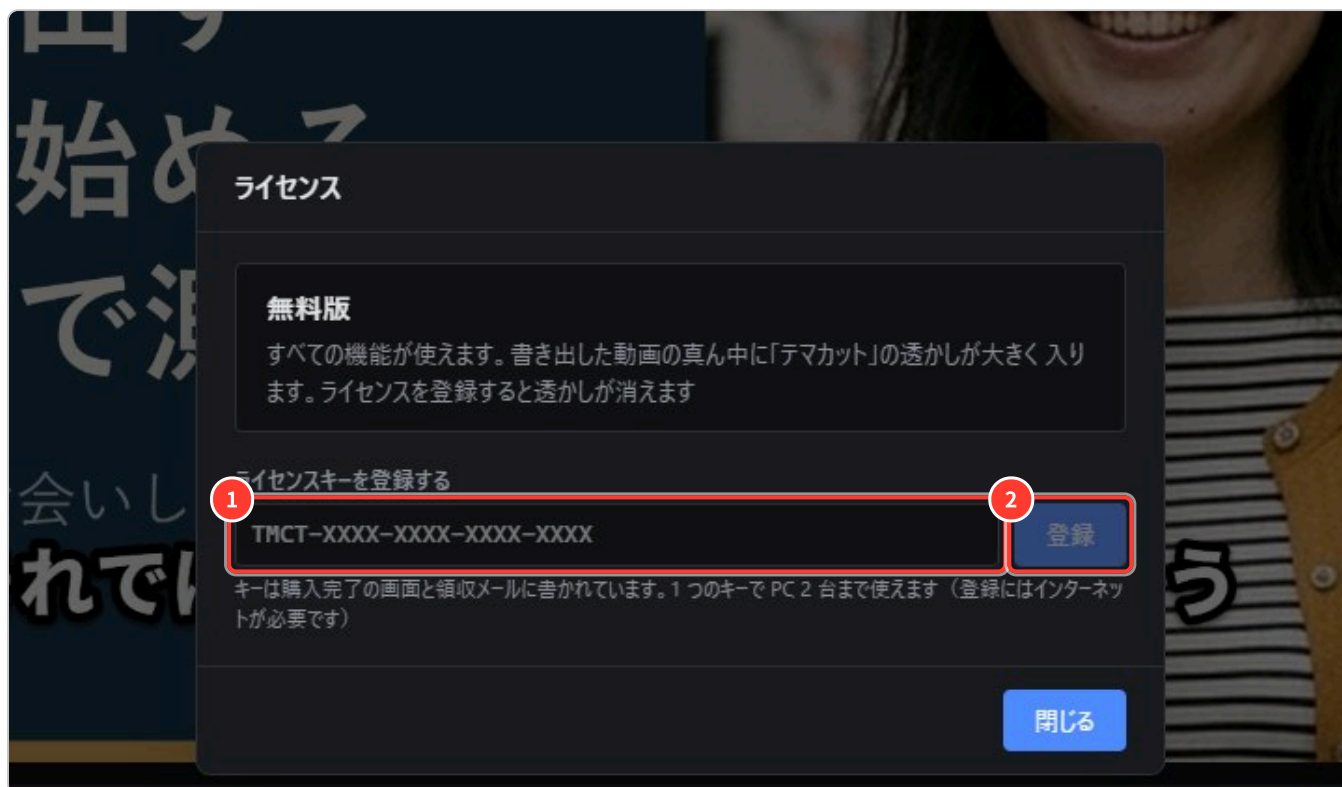


動画のクリップを選び、インスペクターの **1** 「背景の差し替え（人物の切り抜き）」を開きます。「背景を差し替える」をオンにして、「切り抜き方」と「背景」を選びます。グリーンバックで撮った動画は、色で抜くこともできます。

8 ライセンスの登録

ご購入後にお渡しするライセンスキーを登録すると、透かしなしで書き出せます。登録にはインターネットが必要です。

- 1 メニューの「ヘルプ」→「ライセンス…」を選びます。
- 2 ① の欄にライセンスキー（TMCT-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX の形）を入れ、② 「登録」を押します。
- 3 「登録しました。書き出しに透かしは入りません」と出たら完了です。



登録できる PC の台数と、解除のしかた

1つのライセンスで、PC 2台まで使えます。PC を買い替えるときは、先に古い PC の「ライセンス…」の画面で「この PC の登録を解除」を押してから、新しい PC で登録してください。解除すると、その PC は無料版に戻ります。古い PC が使えなくなった場合は、hello@temaheru.com までご連絡ください。

9 困ったとき

Q. 文字起こしが始まらない・終わらない

初回は文字起こしのデータ（約 570MB）のダウンロードがあります。インターネットにつながっているか確かめてください。進み具合は画面の右下に出ます。長い動画ほど時間がかかります。

Q. 動画がインターネットに送られることはありますか？

ありません。カット、文字起こし、美顔補正、モザイクは、すべてお使いの PC の中で処理します。ネットに接続するのは、文字起こしデータの初回ダウンロード、ライセンスの認証、更新の確認のときだけです。

Q. OpenAI などの API キーや、外部の AI サービスの契約は必要ですか？

いいえ。文字起こしも話者の聞き分けも PC の中で動きます。API キーや追加の契約、利用料は要りません。

Q. 間違えてカットした

メニューの「編集」→「元に戻す」（Ctrl + Z）で戻せます。

Q. 素材の動画を動かしたら、見つからなくなった

メディアビンに出る「再リンク…」を押して、動かした先のファイルを選んでください。

Q. 書き出した動画に「テマカット」の透かし（真ん中の文字と全体の薄い模様）が入る

無料版の仕様です。ライセンスを登録すると、透かしなしで書き出せます（8. ライセンスの登録）。

不具合の報告・お問い合わせ

メニューの「ヘルプ」→「不具合を報告・問い合わせ…」を選ぶと、サポートのページ

（<https://temaheru.com/support/>）が開きます。お使いのバージョンと Windows の種類が入った状態で開くので、そのまま症状を書いてお送りください。メールの場合は **hello@temaheru.com** までご連絡ください。1営業日以内にメールでお返事します。

ご連絡のときに、「ヘルプ」→「ログのフォルダを開く」で開くフォルダの中のファイルを添えていただくと、原因を調べやすくなります。

10 AI から使う（Claude に頼む）

製品版は、お手元の Claude Code や Claude のデスクトップアプリから操作できます。「この動画の無音を詰めて、字幕を付けて書き出して」と頼むだけで、テマカットが立ち上がって作業します。テマカットの画面が開き、タイムラインの無音が詰められ、字幕が付いていき、書き出しが進む様子を見ながら、MP4 ができあがります。

- **Claude に渡るのは、ファイルの場所・長さ・カットした数と秒数・字幕の枚数・見つけた顔の数だけ**です。文字起こしの文やカットの位置は、テマカットから Claude に渡しません。
- **書き出した動画の中身（顔・字幕の映ったコマ）も、ふだんは Claude に渡しません。**「仕上がりを見て確かめて」とはっきり頼んだ時だけ、確認用の小さなコマ 3 枚を渡します（道具の引数 `preview_frames`、コマンドでは `--preview-frames`）。
- **AI からの編集・書き出しは製品版の機能です。**無料版でも、登録・つながるかの確認・ライセンスの状態・動画の下見（長さ・無音の量・話者の数）までは試せます（10-2「無料版の時」）。
- テマカットが外と通信するのは、これまでと同じくライセンスの確認・更新の確認と、文字起こしのモデルの初回のダウンロードだけです。ファイルを外に送る機能・消す機能はありません。元の動画は書き換えません。
- MCP に対応したほかの AI ツールでも動く場合があります（動作は Claude で確かめています）。Claude Code・Claude のデスクトップアプリは別にご用意ください。Claude の利用料は、テマカットの料金に含まれません。

書き出した SRT を Claude に読ませる時

書き出した SRT（字幕のファイル）を Claude に読ませると、その中身は Claude に渡ります。中身を渡したくない時は、「中身は読まずに、作ったファイルの場所だけ教えて」と頼んでください。

Claude に返る結果の文と、コマンドの `--help` は、テマカットの表示の言語（メニューの「設定」→「表示の言語」。日本語・英語・中国語）で出ます。

10-1 登録する（はじめに1回だけ）

テマカットのメニューの「ヘルプ」→「AI から使う（Claude に登録）…」を開くと、この PC に合わせた登録の方法が出ます（コピーのボタンもあります）。

Claude Code（デスクトップアプリの「コード」のタブも同じ） ターミナル（PowerShell など）で次の 1 行を実行します。`<ユーザー名>` は Windows のユーザー名です（「AI から使う」の画面に、そのまま使える 1 行が出ます）。

```
claude mcp add --scope user temacut -- "C:\Users\<ユーザー名>\AppData\Local\Programs\Temacut\Temacut.exe" --mcp
```

`claude mcp list` で `temacut` が「Connected」になっていれば使えます。

Claude のデスクトップアプリの「チャット」のタブ

- 1 Claude のデスクトップアプリで「設定」→「開発者」→「構成を編集」を押し、`claude_desktop_config.json` を開きます。
- 2 「AI から使う」の画面の「設定の JSON をコピー」で写した中身を貼って保存します。すでに `mcpServers` がある時は、その中に `"temacut": { ... }` の部分だけを足します。

```
{
  "mcpServers": {
    "temacut": {
      "command": "C:\\Users\\<ユーザー名>\\AppData\\Local\\Programs\\Temacut\\Temacut.exe",
      "args": ["--mcp"]
    }
  }
}
```

- 3 Claude のデスクトップアプリを終了して、開き直します。
- 「拡張のファイルを保存…」で作る `temacut.mcpb` をダブルクリックして入れる方法もあります。

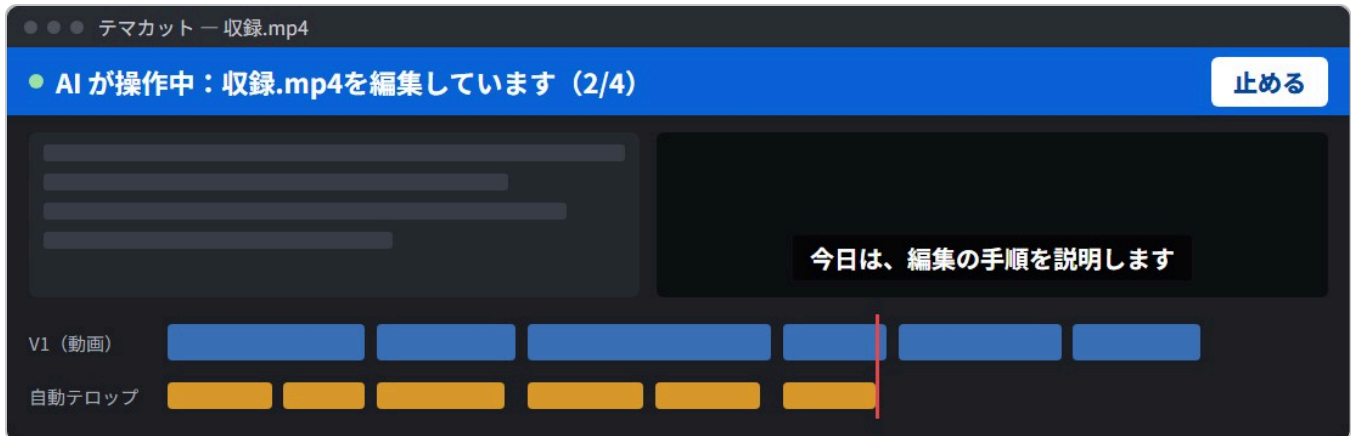
10-2 頼んでみる

Claude に、ふだんの言葉で頼みます。動画は場所（`C:\\Users\\...\\Videos\\収録.mp4` など）を書くか、エクスプローラーからパスをコピーして貼ります。

- 「`C:\\Users\\...\\Videos\\収録.mp4` の無音を詰めて字幕を付けて、同じフォルダに書き出して」
- 「この動画の無音だけ詰めて。0.8 秒より短い間を残して」
- 「この英語のインタビューに字幕を付けて、SRT も作って」
- 「この動画の顔を全部モザイクにして」
- 「美肌補正をかけて書き出して」
- 「この動画、無音がどれくらいあるか調べて」
- 「`収録.temacut` を MP4 に書き出して」（テマカットで手直したプロジェクト）

テマカットが閉じていれば自動で開きます。画面の上に青い帯が出て、「AI が操作中：収録.mp4 を編集しています（2/4）」のように進み具合が出ます。タイムラインでは、無音が詰められ、「自動テロップ」の行に字幕が付いていく様子が見えます。

画面で見えること



Claude から頼まれて編集しているところ。画面の上に「AI が操作中」の帯と「止める」が出ます（説明のための図です。実際の画面とは細部が違います）。

- **止める:** 帯の右の「止める」を押すと、その場で止まります。Claude には「利用者が止めた」と伝わり、書き出しの途中でも、書きかけのファイルは残りません。
- **終わった後:** 編集したプロジェクトは画面に開いたままです。字幕の文字を直したり、カットを調整したりして、「書き出し」で書き出し直せます。残したい時は「名前を付けて保存」で保存します（保存しなければ、1 日ほどで片付けられます）。
- 画面を開かずに処理してほしい時は、「画面は開かずに」と頼みます。
- 時間の目安: 文字起こしは動画の長さと同じくらいかそれより短い時間で終わります。美顔補正をかけると、書き出しに時間がかかります。例: 4K・25秒の動画で約4.5分（PC によって変わります）。初めての文字起こしでは、モデル（約 550MB）をダウンロードします。

話す言語

字幕は、日本語・英語・中国語（普通話。簡体字で出ます）の話し声に対応しています。何も言わなければ自動で判定します。「英語の動画です」のように伝えると、判定の時間が省けて確実です。

書き出す場所と名前

- 書き出す先に `.mp4` で終わる名前を指定すると、そのファイルを作ります。
- フォルダを指定すると、その中に「元の名前_edit.mp4」を作ります。何も言わなければ、元の動画と同じフォルダに作ります。SRT は、動画と同じ名前で `.srt` を作ります。
- **同じ名前のファイルがあると、上書きせずに止まります。** Claude が「上書きしてよいですか」と聞いてくるので、よければそう答えてください。
- 元の動画と同じ場所・同じ名前には書き出せません（元の動画を守るため）。

無料版の時

AI（Claude・コマンド）からの編集・書き出しは、**製品版の機能**です。無料版で頼むと、動画を開かず、何も書き出さずに、Claude から次のように伝わります。

AI からの編集・書き出しは製品版の機能です。画面からは無料版でも全機能を試せます（書き出しには透かしが入ります）。製品版: <https://temaheru.com/store/temacut/>

- 無料版でも、登録・つながるかの確認、「ライセンスの状態を教えて」（license）、「この動画の無音がどれくらいあるか調べて」（inspect）は使えます。
- テマカットの画面から自分で操作する時は、無料版でもこれまでどおり全機能を使えます（書き出した動画には透かしが入ります）。

製品版は <https://temaheru.com/store/temacut/> で購入できます。ライセンスキーの登録は、テマカットの画面の「ヘルプ」→「ライセンス…」で行います（Claude からは登録しません）。製品版は、文字起こしのモデルを入れた後は、AI から使う時もネットなしで動きます。

10-3 コマンドで使う（スクリプト・ほかの AI ツール向け）

インストール先の `temacut.cmd`（または `Temacut.exe --cli`）で、同じことをコマンドで行えます。PATH を通す必要はありません。下の表の（ ）の中は、AI から見た道具の名前です。

```
%LOCALAPPDATA%\Programs\Temacut\temacut.cmd edit "C:\Videos\収録.mp4" --out "C:\Videos\完成" --srt
"%LOCALAPPDATA%\Programs\Temacut\temacut.cmd" cut 収録.mp4 --min-silence-ms 800
"%LOCALAPPDATA%\Programs\Temacut\temacut.cmd" subtitles interview.mp4 --language en --no-burn-in
"%LOCALAPPDATA%\Programs\Temacut\temacut.cmd" mosaic 街頭.mp4 --headless
"%LOCALAPPDATA%\Programs\Temacut\temacut.cmd" inspect 収録.mp4 --speakers --json
"%LOCALAPPDATA%\Programs\Temacut\temacut.cmd" --help
```

edit <動画> (edit_talk_video)	無音カット・字幕・美肌補正・顔のモザイクをまとめてかけ、MP4 に書き出す（既定は無音カットと字幕）
cut <動画> (cut_silence)	無音の間を詰めて書き出す
subtitles <動画> (add_subtitles)	文字起こしして字幕を焼き込む。 <code>--no-burn-in</code> で SRT だけ
beautify <動画> (beautify_face)	顔の肌をなめらかにして書き出す
mosaic <動画> (mosaic_faces)	顔を追うモザイクをかけて書き出す（最大 5 人）
export <プロジェクト.temacut> (export_video)	テマカットのプロジェクトを MP4 に書き出す
inspect <動画> (inspect_video)	長さ・大きさ・無音の量・話者の数を調べる（書き出さない。無料版でも使える）
license (license_status)	製品版か無料版か
setup	Claude への登録の方法を出す（ <code>--mcpb <保存先></code> で拡張のファイルを作る）

edit のオプション

<code>--out <場所></code>	書き出す MP4 かフォルダ（既定は元の動画と同じフォルダの「元の名前_edit.mp4」）
<code>--no-cut-silence</code> ・ <code>--no-subtitles</code>	無音カット・字幕をしない
<code>--beautify</code> ・ <code>--mosaic-faces</code>	美肌補正・顔のモザイクをかける
<code>--language auto ja en zh</code>	話す言語（既定は自動）
<code>--srt</code>	字幕を SRT でも書き出す
<code>--silence-threshold-db -35</code>	無音とみなす音量（騒がしい部屋なら -30 など）
<code>--min-silence-ms 500</code>	これより長い無音だけ詰める
<code>--padding-ms 100</code>	声の前後に残す余白
<code>--overwrite</code>	同じ名前のファイルを上書きする
<code>--preview-frames</code>	書き出した動画の確認用の小さなコマ 3 枚を結果に入れる（既定は入れない。Claude に動画の中身が渡ります）
<code>--headless</code>	画面を開かずに処理する
<code>--json</code>	結果を JSON で出す

終了コード

0	成功
1	処理に失敗した（読めない・書けないなど）
2	使い方の誤り（引数が足りない・形が違う）
3	無料版のため、AI からの編集・書き出しはできない（何も読まず、書き出していない）
4	利用者が止めた（画面の「止める」・Ctrl+C）
5	動画・プロジェクトが見つからない
6	書き出す先に同じ名前のファイルがある（ <code>--overwrite</code> で上書き）
7	テマカットの画面で、ほかの処理をしている途中か、保存していない変更がある（終わってから・保存してから、または <code>--headless</code> で）

10-4 困ったとき (AI から使う時)

Q. Claude が「テマカットの道具が見つからない」と言う

登録の後に Claude を開き直したか確かめます。Claude Code は `claude mcp list` で `temacut` が「Connected」か見ます。テマカットを入れた場所を変えた時は、「AI から使う」の画面の 1 行で登録し直します。

Q. 「別の処理をしている途中です」と返る

テマカットの画面で、自分で動かした処理（書き出し・文字起こしなど）が終わるのを待つか、開いているプロジェクトを保存してから、もう一度頼みます。

Q. 「場所は絶対パスで」と返る

`C:\` から始まる場所を書いて頼み直します。

Q. 「AI からの編集・書き出しは製品版の機能です」と返る

製品版を購入し、テマカットの「ヘルプ」→「ライセンス…」でキーを登録してから、もう一度頼みます。無料版のまま試す時は、テマカットの画面から操作します。

Q. 字幕が付かない・おかしい

話す言語を伝えて頼み直します（「英語の動画です」など）。字幕の文字は、終わった後にテマカットの画面の「テロップ一覧」で直せます。

Q. 顔が見つからない・モザイクが外れる

横を向いた顔・小さな顔は見つからないことがあります。終わった後に画面でモザイクを足したり位置を直したりして、書き出し直します。

Q. 画面が開かずに処理された

テマカットの画面を開けなかった時は、画面なしで処理して結果を返します（結果の注意に書かれます）。